

啓伸塾便り

「ことば」の心と魂をいかに伝えるか、
斎藤 孝 (イサハチ) 氏

「ことば」は、私たちの思いや感情「はっさき」のこころの形を「い」て「え」られるものです。心には形がありません。つかみどころがないのです。顔の表情で、喜怒哀楽を伝えることはできますが、微妙な感情、複雑な思い、繊細な心づかいを伝えるには「ことばの力」が必要ですよ。

一人で生きてゆくなら、「ことば」は絶対に必要とは言えません。しかし、他の人々と心を通わせたい、複雑な意味をやりとりしたいというなら、「ことば」は不可欠です。

見えない・聞かれない・話せないの三重苦を背負ったヘレン・ケラーは、「Water」や「Ice」は「水」や「氷」の音が流れるものだとわかっていた瞬間、世界が明るく開けるのを感じました。

「ことば」は「ことば」そのものがあるのだ、とわかった「ことば」、その「ことば」の理解が「ことば」に進みました。それだけではあきません。

「ことばの力」をはっきりつかんだことで、ヘレンは、感情をコントロールする「ことば」が使えるようになり、落ち着いて学び、人と心をつまやかに通い合わせる「ことば」が使えるようになったのです。

子ども時代に、美しく豊かなことばとたくさん出会い、それを身のうちに深く刻んでゆく「ことば」、人として豊かに生きていく「ことば」の基礎となります。

「ことば」の種類が少なければ、心の細やかさも育ちにくい。ムカツク、ウサインなどといった「ことば」を多用していると、心も殺伐としてきます。「ことば」の表現力の豊かさは、心自体の豊かさにつながっているのです。

「ことば」は、個人のものではありません。私たちが生まれるはるか以前から使われてきました。時代の波にもまれ、変化しながら、今に至っています。私たちは、日本語を普段使うことで、日本の先人たちの心や考え方を共有しているのです。

「ことば」が心を伝えるだけでなく、先人の心を受け継ぎ、「文化的な心」をつくるものでもあるのです。「ことば」の特別な力を味わい、楽しんで、心豊かな人生を送っていきましょう。

保護者の皆様！お子様と会話していませんか。会話はこの「ことば」のキャッチボールです。相手の話に耳を傾け、うなずき、時には質問をします。このように聞き手が反応してくれると、話し手は、自分の話を聞いてくれたことに喜びを感じます。このような会話をすることによって、語彙力が増えます。語彙力が増えれば、いろいろな文章を読み、理解することができま

国語に限らず、すべての勉強は「ことば」を通じて行われるため、この「ことば」のキャッチボールは、より深く考え理解することでもあり、学力アップにも繋がります。

中学生の皆さん！ 中間テストが終わって、もう一度勉強法について考えてみましょう！

今回のテストでは3学年合わせて、5教科で400点以上取った子が10人以上います。その中で450点以上取ってくれた子も何人かいます。その他に中2・中3では、前回のテストより100点以上、上げてくれた子がいます。中1の生徒さんも、今年は例年より問題が難しかったのですが、400点以上の点数を取った子が数名います。もちろん、450点以上の子もいます。

今回の中間テストでは、3学年とも国語の問題で作文が出題されました。作文は入試でも必須の問題です。そのため、過去問題と模範解答を付けて、作文で注意することを説明したうえで、作文の宿題を出しました。

宿題をやってきた子の作文を添削すると、最初から最後まで句点(。)のない文章を書いたり、話し言葉になっていたり、漢字の間違いも少なからずありました。宿題をやってきた子には、間違いを指摘して細かく添削し、口添えして返しました。宿題をやってきた子のほとんどは、テストでもちゃんと点数をとってくれました。しかし、宿題をやって来てくれなかった子には、点数の取れなかった子もいて、残念でした。

今回の作文に限らず、宿題をやった子には、自宅での学習時間が不足しているのです。よく「自宅では勉強できない」と勉強しない言い訳を自分以外のせいにする子がいますが、このような子は絶対的な勉強量が不足しているので、テストで点数が取れるわけがありません。定期テストは範囲がわかっています。点数を取る努力をしてください。テスト直前の土曜日・日曜日に教室を開けてテスト対策をしていますが、直前の塾での勉強だけでは、点数が取れるはずもありません。自宅でも勉強してください。

また、勉強しているのに点数が取れない子もいます。そのような子は勉強法が間違っているのです。勉強法については、今までもよくこの場でご紹介してきましたが、主な正しくない勉強法を二つ、ここでご紹介いたします。

① ただ書だけの自主勉を勉強と思っ、自主勉ノートをカラフルに埋めている子(中学1年生要注意！)
自主勉のノートを埋めることだけ考えて、「問題を解く」ということに頭を使っていない子です。このような子がよく言うことに「ちゃんと勉強しているのにテストで点数が取れない！」です。何も考えずに書いてるので、点数が取れないのは当然です。ちゃんと考えて問題を解く勉強をしましょう。テスト直前にもかかわらず、教科書の文をそのまま映している子がいて、ノートの使い方のアドバイスをしました。

② わからないことをそのままにする子
勉強とはわからないことをわかるようにして、できることを増やすことです。ですから、わからないことをそのままにしているのは勉強になりません。そのような子は、問題文を音読して、その問題がどのような答えを求めているか考えること。ここから始めてください。そしてどうしても、わからなかったら、例題、解説を読んでみる。その上でもう一度考えてみる。それでも、わからなかったら、先生または、聞きやすい誰かに聞いてみる。ここでわかるようになって、それはわかった気がただけですから、もう一度、自分ひとりで問題を解いてみる。問題が解けない子は、もう一度やってみるという行動が足りないのです。テスト前に保護者の方にメールしましたが、お一人お一人に返却したプリントに大切なコメントを記入しています。それが気を付けるべきことなのです。テストで高得点を取る子は、塾や学校の宿題や自主勉は当たり前で、自分で考え勉強をしています。生まれ持って頭がいいのではありません。考えること、そして努力することで、テストで点数がとれるようになるのです。

中3生のみなさんへ

中3生のみなさんは、夏休みに、受験に向け夏期講習を実施します。この夏期講習で1、2年の基本事項を復習し、夏休み明けからの入試実践問題演習につなげていきたいと思います。高校受験が成功するかどうかは、この夏にかかっています。また、夜の通常授業では、期末テストの勉強をします。

中1・2年生のみなさんへ

中1、2年のみなさんも、夏休み期間中は、休み明けに行われる期末テストの勉強をします。そのために、午前中は、教室を開ける予定です。(別紙にて後日連絡します。)

今月の予定

7月22日(木)海の日・23日(金)スポーツの日は、塾の授業を行います。

塾の夏期休暇8月9日(月)～13日(金)です。ご予約下さい。

中3生の夏期講習は7月21日(水)から始まります。

夏期講習は上記の休みの期間も行います。

7月(文月)
July

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、新入塾生募集中